

## 猿払海岸の上空から

猿払村の海沿いには、当課が管理する「海岸保全区域」(浜猿払～浅茅野台地)があります。全長が約10kmの広範囲に及ぶため、車と徒歩で区域全体を見回するには毎回多くの時間を要します。この広大な「海岸保全区域」の全体像を、一般の方々にひと目で理解していただくため、ここでは上空から俯瞰した映像をご紹介します。特に、陸上から見ただけでは認識しにくい海中の「潜堤(せんてい)」という施設は、上から捉えた写真によりその姿と働きを理解しやすくなると思います。  
(\* 当該区域に棲息するオオワシやオジロワシが上空から見ている浜辺の光景を想像しながら、写真をご覧ください。)



① 砂浜の背後に控える緑色の土地は農地です。この農地を波等の被害から守るために、海岸保全区域に指定し管理しています。



② 砂浜の上に見える灰色の線は「緩傾斜護岸工(かんけいしゃごがんこう)」です。コンクリートブロックで砂浜を覆って海水の侵入を防ぎ、陸の浸食を防止します。



③ 写真左側の海中に物体が2つ見えてきましたが、これは何でしょう？



④ 近づいて見ると、コンクリート製の施設の様です。



⑤ 2つの物体は、北海道が海岸保全事業で設置した「潜堤(せんてい)」という施設です。



⑥ 「潜堤」を設置することより、波の影響が緩和され、海底に砂が付きやすくなるという効果があります。



⑦ コンクリートブロックをひとつひとつ海中に設置して、「潜堤」を構築します。通常は、頭の部分が少し海面上に出ています。



⑧ 夏は、船が衝突しないように、施設の周囲に「灯浮標(とうふひょう)」を浮かべて、潜堤の存在を知らせます。